令和４年１２月２１日

大手荷主を訪問して協力を要請

～ トラックの標準的な運賃などへの理解と協力を呼びかけ ～

トラック運送事業は、我が国の貨物輸送量の約９割を担う極めて重要なライフラインです。長引くコロナ禍のもとでも、私たちの暮らしと我が国の経済活動を支えるために、物流を途絶えさせることなく、日夜、業務を継続しています。

国民生活にけっして欠くことのできないトラック運送事業ですが、長時間労働や低賃金等の実態によって担い手不足が深刻化・慢性化しており、その解消のためには、長時間労働の抑制をはじめとした労働環境の改善を図り、魅力ある職場づくりが不可欠です。

トラック運送事業における長時間労働の抑制等に向けた環境整備を進めるため、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善山口県地方協議会」では、山口県独自の取組みとして、昨年度よりトラック運送事業者にとって真荷主となることの多い県内の大手荷主企業を直接訪問し、標準的な運賃などへの理解と協力を呼びかけています。

今般、山口運輸支局長及び輸送首席、山口労働局監督課長、山口県トラック協会専務理事の４名で製造大手の(株)トクヤマ及び日本製紙(株)を訪問し、両社の物流部門のトップに対して、標準的な運賃や荷待ち時間への対応、令和６年４月に適用されるトラック運転手の時間外労働時間上限規制や改正改善基準告示等に対する理解・協力について要請を行い、意見交換を行いました。

(株)トクヤマへの訪問の様子

日本製紙(株)への訪問の様子

＜訪問先の概要＞

◎<u>株式会社トクヤマ　徳山製造所</u>（山口県周南市）

訪問日：令和４年１２月１５日（木）　対応者：物流グループリーダー　他３名

会社概要：化成品等製造販売業　徳山製造所従業員数約 1,500 人

◎<u>日本製紙株式会社 岩国工場</u>（山口県岩国市）

訪問日：令和４年１２月１５日（木）　対応者：工場長代理兼事務部長　他３名

会社概要：製紙業　岩国工場従業員数約 500 人

※令和５年１月１６日には、フジミツ株式会社三隅工場（水産練製品製造業）を訪問予定

意見交換の場では、荷主側の立場からの運賃改定に対する考え方や、発荷主側で荷待ち時間の短縮を達成しても着荷主側の都合で荷待ち時間が発生している現状等、普段聞くことがない荷主側の意見を聞くことができました。

地道な活動ではありますが、今後も、運輸支局、労働局及び山口県トラック協会共同で、物流に影響力のある大手荷主への訪問を継続し、トラック業界の環境改善につなげていきたいと考えています。